平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月28日

上場会社名　カナレ電気株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　5819　URL　http://www.canare.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長執行役員　（氏名）川本 公夫
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員管理部長　（氏名）尾羽瀬 正夫　TEL　045-470-5503

四半期報告書提出予定日　平成21年2月12日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,783	—	705	—	851	—	548	—
20年3月期第3四半期	7,583	12.6	1,050	21.4	1,061	26.0	588	7.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	79.48	—
20年3月期第3四半期	83.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,161	6,247	87.2	925.52
20年3月期	8,172	6,550	80.2	932.11

（参考）自己資本　21年3月期第3四半期 6,247百万円　20年3月期 6,550百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.00	—	18.00	30.00
21年3月期	—	12.00	—	———	———
21年3月期（予想）	———	———	———	18.00	30.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無
20年3月期期末配当金には記念配当3円00銭が含まれております。

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,720	△16.5	640	△57.4	960	△36.5	620	△29.6	91.85

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無
新規　— 社（社名　　）　除外　— 社（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
（注）詳細は2ページ定性的情報・財務諸表等4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
（注）詳細は2ページ定性的情報・財務諸表等4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第3四半期 7,028,060株　20年3月期 7,028,060株
② 期末自己株式数　21年3月期第3四半期 278,121株　20年3月期 121株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第3四半期 6,905,619株　20年3月期第3四半期 7,028,000株

※1.平成21年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
なお、業績予想は慎重に策定しましたが、当社で入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。
実際にはさまざまな要因の変化から、予想とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における連結売上高は、海外子会社の現地通貨ベースの売上高は堅調であったものの、円高による円換算後の目減りや国内の急激な需要の落ち込みにより6,783百万円（前年同期比10.5％減）となりました。利益面におきましても、売上高減少や為替レート変動（円高）による海外販売子会社の収益性低下により営業利益、経常利益はそれぞれ705百万円（前年同期比32.8％減）、851百万円（前年同期比19.7％減）と、減益になりました。四半期純利益は、前年同期に特別損失（主に役員退職慰労引当金繰入額）を計上したことから、当第３四半期はこの負担が軽減され548百万円（前年同期比6.6％減）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末の財政状態は、為替変動（円高）や自己株式の買い付けにより影響を受けました。

（総資産）

当第３四半期末残高は、7,161百万円（前期末比1,010百万円減）となりました。この減少は、主に自己株式買付けによる現預金減少と為替レート変動（円高）による海外資産の目減りによるものです。

（負債）

当第３四半期末残高は、914百万円（前期末比707百万円減）となりました。この減少は、為替変動（円高）による目減りや未払法人税等の減少によるものです。

（純資産）

当第３四半期末残高は、6,247百万円（前期末比303百万円減）となりました。この減少は、四半期純利益による利益剰余金の増加があったものの、自己株式の増加、配当金支払、為替変動（円高）による為替換算調整勘定の目減りによるものです。

３．連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想の見直しを行い、平成20年４月24日発表の予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「業績の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号　平成18年７月５日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第１四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号　平成18年５月17日）を適用しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は、ありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,262	2,972,718
受取手形及び売掛金	1,251,302	1,487,478
商品及び製品	1,304,520	1,106,357
仕掛品	26,710	17,967
原材料及び貯蔵品	114,258	132,952
その他	483,139	548,722
貸倒引当金	△9,230	△8,406
流動資産合計	5,159,963	6,257,789
固定資産		
有形固定資産		
土地	780,983	814,961
その他	2,201,873	2,238,791
減価償却累計額	△1,710,467	△1,671,986
有形固定資産合計	1,272,389	1,381,766
無形固定資産	7,857	5,584
投資その他の資産	721,580	527,648
固定資産合計	2,001,827	1,914,999
資産合計	7,161,790	8,172,789
負債の部		
流動負債		
買掛金	395,310	684,134
未払法人税等	15,976	323,783
賞与引当金	68,779	108,616
役員賞与引当金	17,970	25,313
その他	286,563	302,494
流動負債合計	784,600	1,444,342
固定負債		
退職給付引当金	40,481	50,011
役員退職慰労引当金	67,987	62,978
その他	21,500	64,658
固定負債合計	129,970	177,647
負債合計	914,571	1,621,989

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年３月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,175,210
利益剰余金	4,955,329	4,613,955
自己株式	△334,924	△212
株主資本合計	6,843,159	6,836,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,026	13,061
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	△213,862	72,291
評価・換算差額等合計	△595,940	△285,698
純資産合計	6,247,219	6,550,799
負債純資産合計	7,161,790	8,172,789

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
売上高	6,783,249
売上原価	4,370,253
売上総利益	2,412,996
販売費及び一般管理費	1,707,579
営業利益	705,417
営業外収益	
受取利息	15,839
受取配当金	678
為替差益	119,056
不動産賃貸料	6,075
投資事業組合運用益	10,372
その他	1,391
営業外収益合計	153,413
営業外費用	
支払利息	227
不動産賃貸原価	3,431
投資事業組合運用損	1,737
その他	1,501
営業外費用合計	6,897
経常利益	851,933
特別利益	
固定資産売却益	940
特別利益合計	940
特別損失	
固定資産売却損	160
固定資産除却損	300
役員退職慰労引当金繰入額	2,239
特別損失合計	2,700
税金等調整前四半期純利益	850,173
法人税、住民税及び事業税	202,099
法人税等調整額	99,197
法人税等合計	301,297
四半期純利益	548,876

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	850,173
減価償却費	68,689
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,271
受取利息及び受取配当金	△16,517
支払利息	227
固定資産売却損益（△は益）	△780
固定資産除却損	300
売上債権の増減額（△は増加）	173,651
たな卸資産の増減額（△は増加）	△241,775
仕入債務の増減額（△は減少）	△252,139
未収消費税等の増減額（△は増加）	△1,637
未払消費税等の増減額（△は減少）	△2,646
長期未払金の増減額（△は減少）	△45,199
その他	4,707
小計	542,324
利息及び配当金の受取額	14,728
利息の支払額	△227
法人税等の支払額	△509,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△544,520
定期預金の払戻による収入	342,400
有形固定資産の取得による支出	△40,396
有形固定資産の売却による収入	1,149
無形固定資産の取得による支出	△3,365
投資有価証券の取得による支出	△169,984
子会社株式の取得による支出	△19,357
貸付けによる支出	△7,813
その他	△9,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△1,490
自己株式の取得による支出	△334,712
配当金の支払額	△207,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66,719
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,014,255
現金及び現金同等物の期首残高	2,679,373
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	16,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,681,397

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

当社及び連結子会社は、「放送・通信用ケーブル・ハーネス・コネクタ・機器（パッシブ・電子）及びその付帯器具の製造、販売業務」の単一セグメントであるため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

	日本 （千円）	米国 （千円）	韓国 （千円）	中国 （千円）	台湾 （千円）	欧州 （千円）	計 （千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,590,332	857,958	668,275	535,003	98,465	33,214	6,783,249
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,590,731	－	－	538,182	－	－	2,128,914
計	6,181,063	857,958	668,275	1,073,185	98,465	33,214	8,912,163
営業利益(又は営業損失)	1,228,287	63,029	103,311	74,090	14,880	△23,908	1,459,691

	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高		
(1) 外部顧客に対する売上高	－	6,783,249
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	(2,128,914)	－
計	(2,128,914)	6,783,249
営業利益(又は営業損失)	(754,274)	705,417

（注）１．当社及び連結子会社が存在する国又は地域により区分けしております。

２．当第３四半期連結累計期間の営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は723,071千円であり、その主なものは、当社管理部門等に係る費用及び研究開発費であります。

３．会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

４.その他（３）②に記載のとおり、第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号　平成18年７月５日）を適用しております。これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益への影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

４.その他（３）③に記載のとおり、第１四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号　平成18年５月17日）を適用しております。これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益への影響はありません。

〔海外売上高〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年12月31日）

	米州	アジア	欧州	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	904,797	1,677,084	196,255	105,749	2,883,887
Ⅱ　連結売上高（千円）	－	－	－	－	6,783,249
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	13.3	24.7	2.9	1.6	42.5

（注）１．地域は地理的近接度により区分けしております。

２．各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

（１）米州……米国、カナダ、中南米諸国

（２）アジア……中国及び香港、韓国、タイ、インドネシア、台湾、シンガポール、インド等

（３）欧州……ロシア、イギリス、イタリア、オーストリア等

（４）その他の地域…上記以外

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

４．第１四半期連結会計期間において「その他の地域」に含めて表示していた「欧州」については、第２四半期連結会計期間において重要性が増したため、第２四半期連結会計期間より区分掲記しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第２四半期連結会計期間において、平成20年８月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得しております。その結果、自己株式は334,712千円増加し、334,924千円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

（１）（要約）四半期連結損益計算書

前第３四半期連結累計期間（平成19年４月１日～12月31日）

区分	前年同四半期 （平成20年３月期 第３四半期）
	金額（千円）
Ⅰ　売上高	7,583,110
Ⅱ　売上原価	4,685,505
売上総利益	2,897,604
Ⅲ　販売費及び一般管理費	1,847,336
営業利益	1,050,268
Ⅳ　営業外収益	29,643
Ⅴ　営業外費用	18,438
経常利益	1,061,472
Ⅵ　特別利益	20,652
Ⅶ　特別損失	86,804
税金等調整前四半期純利益	995,320
税金費用	407,117
四半期純利益	588,203

（２）（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第３四半期連結累計期間（平成19年４月１日～12月31日）

	前年同四半期 (平成20年３月期 第３四半期)
区分	金額（千円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	995,320
減価償却費	74,326
固定資産除売却損	125
売上債権の増減額（△は増加）	△251,148
たな卸資産の増減額（△は増加）	△221,139
仕入債務の増減額（△は減少）	38,161
その他	△51,182
小計	584,463
利息及び配当金の受取額	12,243
利息の支払額	△318
法人税等の支払額	△360,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,815
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△36,812
投資有価証券の取得による支出	△112,315
その他	135,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,058
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△189,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,756
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,056
Ⅴ　現金及び現金同等物の増加額（又は減少額）	9,943
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	2,380,899
Ⅶ　現金及び現金同等物の四半期末残高	2,390,843

（３）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（平成19年４月１日～12月31日）

当社及び連結子会社は、「放送・通信用ケーブル・ハーネス・コネクタ・機器（パッシブ・電子）及びその付帯器具の製造、販売業務」の単一セグメントであるため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	日本（千円）	米国（千円）	韓国（千円）	中国（千円）	台湾（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	5,457,712	934,700	758,103	383,452	49,142	7,583,110	－	7,583,110
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,420,175	－	－	560,919	－	1,981,095	(1,981,095)	－
計	6,877,887	934,700	758,103	944,371	49,142	9,564,205	(1,981,095)	7,583,110
営業利益(又は営業損失)	1,466,462	△35,108	210,635	114,998	1,368	1,758,356	(708,087)	1,050,268

〔海外売上高〕

前第３四半期連結累計期間（平成19年４月１日～12月31日）において、算出していないため記載を省略しております。

６．その他の情報

該当事項はありません。